

資	料	提	供
令	和	4	年
7	月	1	日
健	康	福	祉
部	少	子	化
対	策	監	室
子	育	て	支
援	課	長	田
村			
家	庭	福	祉
G	L		辻
村			
直	通	2	2
5	-	1	4
2	0		
内	線	4	0
6	0		

## 第70回石川県母子及び寡婦福祉大会の開催について

- 1 目的 母子家庭の母、寡婦及び福祉関係者が互いの連携を深めるとともに、自立意識の向上を図る機会とし、もって母子寡婦福祉の一層の増進を図る。
- 2 主催 石川県、公益財団法人石川県母子寡婦福祉連合会
- 3 後援 社会福祉法人石川県社会福祉協議会
- 4 日時 令和4年7月3日(日) 10:30～12:00
- 5 会場 石川県女性センター ホール (金沢市三社町1番44号)  
TEL 234-1112
- 6 参加者 母子家庭の母、寡婦、福祉関係者等 約180人
- 7 内容 (1) 式典 10:30～11:10  
石川県知事表彰 (社会福祉功労者) 8人  
石川県母子寡婦福祉連合会会長表彰 8人  
※受賞者氏名は別添プログラムに記載のとおり  
(2) 講演 11:15～11:55  
演題「石川に感じたこと」  
講師 町会言語サポーター  
ヒクマ バルベイド 氏

# 第70回 石川県母子及び寡婦福祉大会



## 趣旨

今日、結婚や生き方等に対する価値観の多様化や女性の社会進出、急速な少子高齢化など、社会環境が大きく変化しています。

このような状況の変化に応じて、母子寡婦福祉行政もこれまでの児童扶養手当中心の経済的支援から、就業や自立に主眼をおいた総合的な支援に移行しており、これまで以上に自立への努力が求められています。

こうした中で、母子家庭の母、寡婦及び福祉関係者が一堂に会し、互いの連携を深め、自立意識の向上を図ることにより、母子寡婦福祉の一層の増進を図ります。

と き 令和4年7月3日(日) 10:30～12:00

ところ 石川県女性センターホール

◆主催：石川県・(公財)石川県母子寡婦福祉連合会

◆後援：(福)石川県社会福祉協議会

## 秩父宮妃殿下御歌

あらし世の  
風にたえつつ  
手ひとつに  
子を育てゆく  
母に幸あれ

(昭和三十五年 全国母子福祉大会  
創立十周年記念大会に際し下賜)

## 生き抜く白百合

- 一、けわしき山路の白百合は  
雨にも風にも耐えて咲く  
気高く清らかな花のごと  
浮世の波に生き抜かん
- 二、のびゆくわが子に亡き人の  
面影みえていとほしく  
茨の山路はつづくとも  
手と手をつなぎいざ行かん
- 三、黒雲空をおほうとも  
いつかは洩れる陽の光  
冷き冬来れば春近し  
青い小鳥よ窓に啼け

(昭和三十五年 全国母子寡婦福祉団体協議会 受唱歌)

## 母子及び父子並びに寡婦福祉法

### (基本理念)

全て母子家庭等には、児童が、その置かれている環境にかかわらず、心身ともに健やかに育成されるために必要な諸条件と、その母子家庭の母及び父子家庭の父の健康で文化的な生活とが保障されるものとする。

寡婦には、母子家庭の母及び父子家庭の父に準じて健康で文化的な生活が保障されるものとする。

### (国及び地方公共団体の責務)

国及び地方公共団体は、母子家庭等及び寡婦の福祉を増進する責務を有する。

### (自立への努力)

母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦は、自ら進んでその自立を図り、家庭生活及び職業生活の安定と向上に努めなければならない。

# プログラム

## ● 開 会 ..... 10:30 ~ 10:35

開 会 の こ と ば  
秩父宮妃殿下御歌

## ● 式 典 ..... 10:35 ~ 11:10

- ◆あいさつ 石川県知事  
(公財)石川県母子寡婦福祉連合会会長
- ◆表 彰 石川県知事表彰  
(公財)石川県母子寡婦福祉連合会会長表彰
- ◆祝 辞 石川県議会議長  
石川県民生委員児童委員協議会連合会会長  
石川県婦人団体協議会会長
- ◆謝 辞 角 ちあき (受賞者代表)

\*\*\*\*\* 被 表 彰 者 \*\*\*\*\*

(50音順)

### ◆石川県知事表彰

上島 昭子 (中能登町)	角 ちあき (珠洲市)	北野 咲江 (白山市)
高橋真由美 (宝達志水町)	中村真由美 (小松市)	藤岡さち子 (金沢市)
町元 朋絵 (輪島市)	山本 正子 (津幡町)	

### ◆(公財)石川県母子寡婦福祉連合会会長表彰

久保 典子 (輪島市)	鈴木満里子 (小松市)	土居下鈴子 (七尾市)
南 千明 (金沢市)	門前 芳子 (七尾市)	山口 和子 (かほく市)
山本 峰子 (野々市市)	吉本三千代 (宝達志水町)	

## ● 講 演 ..... 11:15 ~ 11:55

テーマ 『石川に感じたこと』

講 師 町会言語サポーター ヒクマ バルベイド

### 講演要旨

金沢に在住して22年。私にとって石川県で癒しの場となっている場所、特に好きな海などの紹介や、来日してからずっと変わらない気持ちなど、自身の経験や活動を踏まえて、金沢の魅力や日本と自国の違いについてお話しします。

### 講師略歴

インドネシア出身で、結婚を機にインドネシアから金沢に2000年に移住した。地域で暮らすイスラム教徒の留学生など外国人の生活支援や、外国人と日本人との交流活動に貢献している。金沢市から平成元年に町会言語サポーターに任命。令和3年度には、いしかわ女性のチャレンジ賞を受賞。金沢大学留学生支援地域アドバイザー。

## ● 閉 会 ..... 11:55 ~ 12:00

生 き 抜 く 白 百 合  
閉 会 の こ と ば